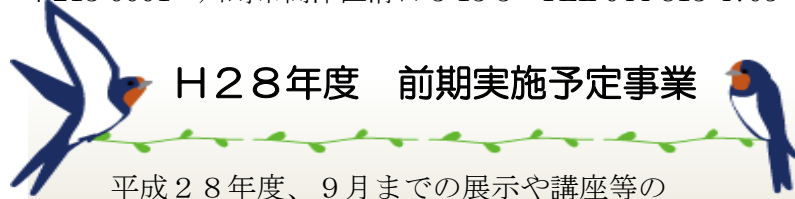


大山街道 ふるさと館だより

No. **40**
2016. 3. 10

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3 TEL 044-813-4705 FAX 044-814-0250 <http://furusatokan.web5.jp>



H28年度 前期実施予定事業

平成28年度、9月までの展示や講座等のスケジュールです。事業の詳細は、当館にお問い合わせ頂くか案内チラシなどでご確認ください。

歴史ある大山街道、高津の魅力を今年もたくさん発見していきます。

1. 博物館事業

事業名	実施月・日	内容
常設展	通年	・郷土に関わりのある資料やゆかりの美術・文学作品などを展示
企画展 第1回企画展	6月17日(金) ～6月20日(月)	・高津区の老人クラブ連合会の皆様による絵画・手芸・陶芸・書道などの作品展
企画展 第2回企画展 記念講演会 (区民祭参加事業)	6月25日(土) ～7月31日(日) 7月17日(日)	・ふるさと高津の郷土史家による史料や著書などを元にした展示。 仮題「自由民権運動における溝ノ口の当時の様子」 *区民祭の日程により、実施日が変更されることがあります。

ミニ企画展は、展示室前掲示板で随時実施します。

2. 歴史文化探究事業

※実施日は変更することもあります。

事業名	実施月・日	内容
ふるさと町歩き講座 第1回町歩き	4月23日(土)	・溝ノ口から下作延を歩く。 講師：佐藤 忠氏 (高津シルバーガイドの会代表)
ふるさと発見講座 第1回講演会	5月14日(土)	・川崎の発展に尽くした人物伝 内藤陵雲を中心とした川崎の石工たち 講師：林 浩一氏 (郷土史研究家)
ふるさと子ども 出前授業	6月中旬～2月	・ふるさと館近隣の小学生を中心とした郷土学習の支援
中学生のための郷土 理解講座	8月8日(月)	・「探ろう、大山街道の魅力」
歴史探究講座 第1回講演会	9月10日(土)	・宿場シリーズI 「東海道川崎宿」 講師：三輪修三氏

お気軽にお立ち寄りください みちまちラウンジ

ふるさと館2階には、大山街道や高津に関する書籍をゆっくりご覧になれるスペースがあります。町歩きやお買いもの途中の一休みに是非ご利用ください。



子ども探検クラブ研究発表会を開催しました

子ども探検クラブの全員が、一年間の活動の成果を来賓の方々や保護者の皆様に披露する活動です。夏休みにまとめた「自由研究」や「コマまわしに挑戦(昔遊び)」など一人一人の個性が発揮される発表の場となりました。当日は、大勢の関係の皆様に出席いただき、子ども達にとって貴重な発表の場となりました。

- ◆ 日時：平成28年3月9日(水) 午後3時30分～
- ◇ 会場：大山街道ふるさと館 イベントホール(2F)
- ◆ 講師：中平龍二郎先生(大山道研究家)

宮田 進 先生(元NPO法人教育活動総合サポートセンター理事長)

※4月は新会員を迎えて、子ども探検クラブの発足会とふるさと館内見学を行なう予定です。



▲発表会に向けて熱心に話し合う子ども達

28年度 第1回ふるさと町歩き講座

町歩きをしながら、地域が発展してきた歴史を学びます。溝ノ口～下作延を巡ります。

- ◆ 日時：平成28年4月23日(土) 午後1時～4時
- ◇ 集合：JR南武線 武蔵溝ノ口駅 改札口前広場
- ◆ 講師：佐藤 忠氏(高津シルバーガイドの会代表)
- ◇ 定員：30人 (申込み先着順)
- ◆ 参加費：500円(保険・資料代含む)
- ◇ 申込み：3月24日(木)から電話、FAX、ふるさと館窓口まで
- ※ 小雨決行とします。中止の場合は前日の午後5時の時点で連絡します。

参加者募集!



▲ふるさと町歩きを楽しむ参加者

ミニ企画展のご案内

4月からの展示 「多摩川氾濫の歴史」

多摩川は勾配が急な川で、そのため古くから洪水が絶えず、「あばれ川」として知られていました。氾濫のたびに流路が変わり、それによって村が分断された地区が数多くあり、宇奈根、野毛、等々力、丸子など川の両岸に同じ名の地区があるのはそのためです。現在のような流路に近くなったのは1590年の大洪水によると言われています。そのため、古くから堤防が築かれてきましたが、堤防はたびたび決壊し、そのたびに水害をもたらしています。



▲昭和49年 台風16号による狛江水害

子ども大山街道探検クラブ活動の紹介

～ 1月 “あゆの絵付け” に挑戦 ～

1月の探検クラブは、たかつ大山街道1000匹の「あゆプロジェクト」の皆さんを講師にお迎えし、「あゆ」の形をしたぬいぐるみに色や模様を入れる活動をしました。子ども達は、思い思いに個性あふれるオリジナルの作品が完成したとき、とても満足した様子でした。講師の方から「3月の大山街道フェスタでは、皆さんの作品が飾られます。ぜひ、探して見つけてください」という言葉に、嬉しそうに答えていました。



～ 2月 研究発表会に向けて ～

2月の探検クラブの活動内容は、3月の研究発表会に向けた準備です。「どんなふうに発表しようかな」子ども達は、ふるさと館職員の助言を聞きながら発表の内容を考えていました。どんな発表になるか楽しみです。

子どもたちの(?)に答える ふるさと館子ども出前授業 <久地小学校> 「校章はどうして梅の花なのかな」

1月15日(金)市立久地小学校の3年生を対象にふるさと館職員による出前授業を行いました。授業は「本校の校章に梅の花が使われています。なぜでしょう。」という話から始まりました。

また、この地域に今も残る「横土手」、「かすみ土手」が多摩川の洪水と大変関わりが深かったなどの話や昔のくらしの様子や説明に子ども達は熱心に耳を傾け、聞き入っていました。



▲川崎市立久地小学校での職員による出前授業

第20回 大山街道アクションフォーラム開催される

“二子玉川の現在、高津大山街道の未来”

1月26日(火)当ふるさと館イベントホールにおいて地元住民など30名の方が出席されて“二子玉川の現在、高津大山街道の未来”というテーマで大山街道アクションフォーラムが開催されました。当日は、二子玉川のまちづくり関係者によるトークセッションをもとに、どのようにしたら未来の高津、大山街道を活力あふれる魅力のある町にできるのか、について話し合いました。多くの方からアイデアに満ちた様々な意見が出され、会場は熱気に包まれました。



▲アクションフォーラムの熱心な討議

大山街道（二子・溝口宿）をゆけば

二子・溝口宿の主な史跡をシリーズで紹介いたします。街道散策の折の参考になれば幸いです。



“第11回 栄橋と平瀬川”

(所在地：高津区溝口)

大石橋を渡って、大山街道をしばらく歩くと「栄橋」という交差点にたどり着きます。この交差点は、久地駅前から続く南武沿線道路と大山街道との交差点になります。この交差点脇に、以前にこの場所に架かっていた「さかえはし」の欄干の親柱が、今も残っています。

この橋は、かつてこの場所に流れていた平瀬川と二ヶ領用水（根方堀）が交差したところがありました。ここは溝口と下作延との境でもあり、「境橋」とも呼ばれていました。

また、古代から中世にかけてこの辺りを馬上から検身（見積もり）で税が免ぜられた田畑でもあったことから「馬上免橋」とも呼ばれていました。この馬上免という地について「武蔵風土記稿」では、『村の西七面山の下を云、往還の内なり、相伝ふ昔村内の大石橋を修理せしめられし時、官吏のまえにて旅人等下馬せしを、道中なれば苦しからずとて免ぜしゆへ此名起こりしなりと』と書かれています。

明治の世になってこの橋は「栄橋」と言われるようになりました。「さかい（境）」が「さかえ（栄）」となったのは、この土地の人々が永遠に栄えることを祈ってこの名が付けられたとも言われています。

今、この場所に立つと「栄橋」と言う名を付けた当時の人々の願いや思いがひしひしと伝わって来るような気がします。



▲栄橋交差点にある栄橋欄干の親柱

福は内 鬼は外 (溝口神社節分祭)

真冬の晴天に恵まれた高津区「溝口神社」では2月3日(水)恒例の節分祭が行われました。溝口神社は、元赤城社と呼ばれていましたが、明治6年(1873年)新たに伊勢神宮より御分霊を迎え入れ、御祭神を改め、溝口村の総鎮守となりました。古い歴史をつなぐ溝口神社。太鼓が打ち鳴らされる中、氏子や年男、年女の投げる豆やお菓子を取ろうと歓声があがり、いよいよ最高潮を迎えます。春を告げる節分祭に境内は熱気に包まれ、福を求めて多くの参拝客で賑わいました。



▲ 溝口神社の節分祭

申込み・問合せ 大山街道ふるさと館

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3

電話：044 (813) 4705 FAX：044 (814) 0250

開館 時間 ・9：30～21：30

休 館 日 ・年末年始(12月28日～1月4日)

施設点検日 ・毎月 最終金曜日

床 清 掃 ・奇数月 第3水曜日

※施設点検日、床清掃日は会議室等の利用ができません。

※駐車スペースがありませんので、お車での来館はご遠慮ください。

※ふるさと館では、イベントホール、会議室、和室が利用できます。ご利用のほどお願いします。

—ふるさと館案内図—



JR南武線 武蔵溝ノ口駅 下車 徒歩7分
東急田園都市線 高津駅 下車 徒歩5分